

令和6年度

肢体不自由教育部門

中学部

第3学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	国語		学習グループ名		中⑤G		
目標・ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付ける。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を養う。 (3) 読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができる。						
担当教職員 *学校介護職員	巻島 圭子						
年間授業時数	105 単位時間						
使用教科書	三省堂「現代の国語 3」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	詩の世界「岩が」	7	○詩の表現技法を学ぶ ◆詩の決まりを理解し、内容を理解する。(知識・技能)			・対比されているものを手がかりにして、抽象的な表現の意味を考え、作者の思いを捉える。	
5	小説「握手」	10	○心理を表す言葉を追い、感想文を書く。 ◆登場人物の心理の変化を読み取る。(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)			・「握手」が描かれている部分を比較することで、登場人物の変化を読み取る。	
6	評論「間の文化」	5	○文章構成や論理の展開を意識して、本文の内容を捉える。 ◆「間」や「和」を観点にし、日本文化について考えを深める。(思考・判断・表現)			・日本文化の特徴を捉えるため、それぞれの観点で西洋文化との違いに着目する。	
	解説「俳句の世界」 俳句「俳句十句」	5	○語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を読む。 ◆俳句の決まりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。(知識・技能)			・季語から得られる情報を具体化する。	
7	随想「希望」	8	○物事を多角的に捉える力を養う。 ◆感受性を広げる言葉に触れる。(思考・判断・表現)			・直接的には述べられていない筆者の思いを、スタジャックさんの言葉をもとに捉える。	
9 10	論説「フロン規制の物語」	5	○文章を批判的に読む。 ◆物事を多角的に捉える力を養う。(思考・判断・表現)			・表現の効果を考えるため、それが無い場合などを仮定してみる。	
	古文「和歌の世界」 「おくの細道」	16	○音読を大切に、プリントで古文の決まりを学ぶ。 ◆和歌の形式や表現の特徴を捉え、その効果について理解する。(知識・技能)			・和歌、文章の背景を想像できるように画像や映像資料も活用する。	
11	漢文「論語」	10	○訓読の仕方を踏まえて本文の内容を理解する。 ◆漢文の決まりが分かる。(知識・技能)			・孔子や中国の文化などの「論語」の背景についても触れる。	
12	文法(十品詞)	4	○十品詞を暗記、単語を見分ける。 ◆十品詞が言えて、それぞれの役割が分かる。(知識・技能)			・練習問題を通して知識の定着を図る。	
	葉書きやカードを書く	4	○季節に応じた葉書きや手紙が書ける。 ◆季節に応じた葉書きが書ける。(主体的に学習に取り組む態度)			・葉書に関する基礎知識を身に付けられるようにする。	
1	小説「坊ちゃん」	12	○人物の言動に着目し、心理を追う。 ◆主人公の心情の変化と場面の展開を捉える。(思考・判断・表現)			・清とその他の登場人物を対比することで、主人公にとって清はどのような存在か読み取る	
2	読書感想文	8	○おすすめ読書新聞を作成する。 ◆自分の感想を伝える技術と態度を養う。(思考・判断・表現)			・スモールステップで少しずつ文章に肉付けをしていく。	
	文法(助詞・助動詞)	4	○プリントで問題を解く。 ◆助詞と助動詞の種類と役割を学ぶ。(知識・技能)			・練習問題を通して知識の定着を図る。	
3	一年間の復習	7	○古文・漢文の基礎的な文章を読む。 ○漢字や語句の問題を解く。 ○様々な文章問題を解く。 ◆1年間の学習を振り返る。(知識・技能)(思考・判断・表現)			・練習問題を通して知識の定着を図る。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	社会		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1)日本の歴史の大きな流れや、経済・政治・国際社会の仕組みを理解する。 (2)資料から多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断し、適切に表現する力を養う。 (3)現代の社会的事象に対する関心を高め、よりよい社会を形成していくために自ら考えようとする態度を育てる。				
担当教職員 *学校介護職員	丹澤 聡子				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	東京書籍「新しい社会 歴史」、日本文芸出版「新しいみんなの公民」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	公民 導入なぜ「公民」を学ぶのか?	2	○[地理・歴史・公民の概念図]で自分の立ち位置を確認する。 ◆「公民」という言葉の概念について理解を深め、学習への意欲を高める。		・「公民」という分野が自らの生活と密接にかかわるものであることを理解するため、実体験など想像しやすい題材を扱う。
	私から見える現代の日本社会	2	○「私」との関係という視点から、少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代日本社会の特色に関心を高める。 ◆現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解し、政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付く。		・現在の日本の状況を理解できるよう、新聞の記事を抜粋するなど、最新の情報を取り扱う。
	現代社会の文化と私たちの生活	4	○現代社会における文化の意義や影響を多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現する。また、日本の伝統と文化について、これまでの学習内容をもとに考察する。 ◆現代社会における文化の意義や影響を理解するとともに、わが国の伝統と文化に関心をもつ。		・普段何気なくしている行動や行事にも日本古来の文化が影響していることが分かるよう、自身の生活から題材を設定する。
	現代社会をとらえる見方や考え方	4	○事例の資料をもとに、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」について仲間や教員と話し合い、考えを深める。 ◆見方や考え方の基礎として、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」などの視点があることを、具体的な社会生活と関連付けて理解する。		・お互いの考えの違いを理解することができるよう、相手の考えを否定することなく、一度最後まで聞くよう促す。
5	日本国憲法の基本原則	12	○日本国憲法の3つの基本原則の内容や課題について文献を見て考察する。 ◆日本国憲法の基本原則についての理解を深め、象徴としての天皇の地位と天皇の国事行為について理解する。		・日本国憲法の原則が日本の根幹となっていることを理解できるよう、身近なものを例示し、考察する活動を行う。
6	基本的人権の尊重	6	○社会の変化による新たな人権問題や基本的人権に関わる課題解決について、日本国憲法をもとに考察する。 ◆人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に、具体的な活動などを通して意欲的に追究し、法の意義や法を守る心について理解する。		・ロールプレイなどを通して、基本的人権の大切さを理解する。
	民主政治のしくみ	6	○民主主義の意義につき、多数決の原理や直接民主主義と間接民主主義の長所と短所などに関連付けながら考察する。 ◆民主政治の仕組みやマスメディアの影響力、考え方について理解し、主権者として政治参加する意義を理解する。		・主権者の一人として何が出来るかを考えるため、身近なテーマでの模擬投票などを行う。
	国民の代表機関としての国会	4	○二院制のもつ意義や、衆議院、参議院の機能や特色について考察する。 ◆国会のしくみや役割、政党がもつ意義や働きについて正しく理解する。		・政党の意義やはじまりを理解できるよう、歴史の既習事項と関連させて説明する。
7	行政権をもつ内閣	4	○議院内閣制について国民主権との関わりから考察する。 ◆内閣と国会とのかわりや、内閣と行政機関の仕組みや働きについて理解し、行政の課題について考える。		・行政の課題を主体的に考えられるよう、時事問題等を使用する。
7	裁判所と司法権	5	○三審制のしくみや民事裁判と刑事裁判の違い、裁判所が他の権力から独立していることについて、資料などから読み取りまとめる。 ◆国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることを理解する。		・司法の独立の重要性が分かるよう、過去に実際に起きた事件をもとに解説する。
9	地方自治と住民	12	○地方自治が直接民主制の手法を導入している理由について、具体的な事例や制度に基づいて考察する。 ◆地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治の仕組みについて理解し、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育む。		・地方自治の大切さについて理解できるよう、生徒の身の回りのことに置き換えて考える時間を設定する。
10	消費と経済	8	○経済活動に関する事象を多角的に捉え、身近な事例から経済を考える。 ◆身近な消費生活を通して、経済活動や産業構造を理解する。		・自身も経済の担い手であると自覚することが出来るよう、買い物などから経済活動を考える。
10	生産と労働	8	○生産のしくみや、わが国の経済のようす、労働者の権利について理解する。 ◆流通・生産における企業の役割や働くことの意義と権利について理解する。		・働くことを身近に感じる事が出来るよう、総合的な学習の時間の職業学習と連携させる。
11	市場経済と金融	12	○国家や世界単位での経済活動のしくみを、統計資料などを活用し、図やグラフなどにまとめて理解する。 ◆資本主義経済や市場経済における価格変動のしくみ、金融機関の役割、為替制度について理解する。		・世界の経済活動をイメージしやすいよう、映像資料を多く用意する。
12	私たちの生活と財政	7	○日本の財政問題について、租税制度もふまえた上で、望ましい財政のあり方について考える。 ◆市場経済における政府の役割や、租税・財政について理解する。		・リーフレットなどを使用し、税の使い道や、意義について具体的にイメージできるようにする。
12	私たちの生活と福祉	7	○日本の社会保障制度の現状と将来について、多角的な視点から考える。 ◆日本の社会保障制度の課題を財政面と少子高齢化の面から考え、将来のあり方について考える。		・過去と現在の資料を用意し見比べうことで少子高齢化と財政の課題点を考察できるようにする。
1	国家と国際社会	8	○国際的な相互依存関係の深まりの中で、国際社会における日本の役割や国際貢献のあり方について考える。 ◆世界平和の実現に向けた国際的な取り組みについて理解する。		・自身が世界平和の担い手の一人であることを自覚できるよう、具体的な案を出して話し合う活動を行う。
	持続可能な社会をつくるために	8	○「持続可能な開発」の意味や必要性について考え、自分の意見をまとめる。 ◆地球環境、資源・エネルギー、人口・食料問題解決に関心をもち、社会のあり方や自分の生き方について考える。		・SDGsの観点から社会的事象を考えることが出来るよう、それぞれの事象がどの目標に当てはまるか一つ一つ確認する。
2	3年間のまとめ	21	○3年間の社会科の総まとめをする。 ◆苦手な分野や興味・関心のある課題に主体的に取り組む。		・小テストなどを行い、苦手な分野を把握して、重要語句を確認できるプリントを用意する。
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	数学	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	数学			学習グループ名			
目標・ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける (2) 事象を論理的に考察する力、数量や図形を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を養う (3) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う						
担当教職員 *学校介護職員	保呂草 健						
年間授業時数	140 単位時間						
使用教科書	大日本図書「数学の世界3」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	多項式	10	○多項式の計算 ◆展開の公式を理解し、計算ができる。			公式の意味を理解し活用できるよう指導する。	
5	多項式	12	○因数分解 ◆因数分解の公式を使った計算の工夫ができ、計算の中で利用できる。			計算の工夫は式をよく眺めることから始めることを強調する。	
6	平方根	12	○平方根 ◆平方根の大小が比較できる。 ◆根号を含む数の加減計算ができる。			新しい数の概念について繰り返し指導を行い定着を図る。	
7	2次方程式	15	○2次方程式 ◆因数分解、平方根の考え方、解の公式を使い方程式を解ける。 ◆2次方程式を利用して数や図形の問題を解決することができる。			2次方程式の意味と解を理解させる。	
9	関数	13	○関数 $y=ax^2$ ◆関数のグラフの特徴と性質を知る。 ◆与えられた条件から関数の式を求めることができる。			2次関数の変化や対応の様子やグラフの性質に興味・関心をもたせる。	
10	相似と比	15	○相似な図形 ◆図形の拡大縮小の意味が分かる。 ◆三角形の相似条件を理解し、図形の性質が証明できる。			図形の相似条件を確実に理解させる。	
11	相似と比	12	○図形と比 ◆図形の比を利用して問題解決できる ◆相似な図形の面積や体積を求めることができる			図形の比の具体的な活用例を示す。	
12	円	17	○円周角の定理と性質の利用 ◆円周角と中心角の関係を理解し、角の大きさを求める。 ◆弧と円周角の関係が分かり円の性質を利用して問題解決できる。			性質を理解し活用できるよう指導する。	
1 2	三平方の定理	20	○三平方の定理と三平方の定理の活用 ◆三平方の定理を活用し、図形の面積や体積を求める。			定理を着実に理解し、証明できるように指導する。	
2	標本調査	7	○標本調査 ◆全数調査と標本調査の違いに気付き、使い分けができる。 ◆標本調査を利用して身の回りの数量を推定できる。			標本調査の考え方を丁寧に指導する。	
3	1年間の学習のまとめ	7	○1年生で学んだ数学をふりかえる ◆1年間のまとめ、補充問題、総合問題			1年間の振り返りを反復学習で行い定着を促す。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門)年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	理科		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 自然の仕組みや現象への関心を育み、疑問やアイデアなどをもち、主体的に思考する。 (2) 自然の仕組みや現象への理解を深め、科学的に探究する能力を育てる。 (3) 人間と自然のかかわり方について自分の考えをもてるようになる。				
担当教職員 *学校介護職員	遠藤 仁				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	大日本図書 新版「理科の世界3」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	化学変化とイオン	12	○水溶液とイオン、化学変化と電池 ◆電解液の仕組みを理解する。 ◆イオンを理解する。		化学変化の基本的な概念や原理・法則などを観察や実験、イオンのモデルと関連づけながら、実際に体験し理解を深めていく。
5		12	○酸、アルカリとイオン ◆酸・アルカリの性質を知る。 ◆中和と塩について理解する。		
6	生命のつながり	16	○生物の生長と増え方 ◆細胞分裂と成長を関連付けて考える。 ◆有性、無性生殖の特徴を理解する。		観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方について特徴や規則性を見だし、見識を広める。科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動などが充実する機会をもつ。
7		8	○遺伝の規則性と遺伝子 ◆遺伝の仕組み、規則性を理解する。 ◆遺伝子の働きを理解する。		
9	自然界のつながり	12	○生物同士のつながり ◆生物間のつながりを考える。 ○自然界を循環する物質 ◆生物と自然環境との循環を理解する。		
10	運動とエネルギー	16	○力のはたらき ◆力のつり合いを説明できる。 ◆力の合成・分解ができる。 ○物体の運動 ◆力と運動の変化の関係を理解する。		力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、エネルギーを観察や実験を通し、実際に体験し理解を深めていく。生徒の実態に応じ、十分な観察や実験の時間、課題解決のために探究する時間などを設けるようにする。
11		16			
12		12	○仕事とエネルギー ◆力学的エネルギー保存を理解する。 ◆エネルギーの利用方法を知る。		
1	地球と宇宙	12	○天体の1日の働き、1年の働き ◆地球の自転・公転を理解する。 ○月と惑星の運動 ◆太陽や惑星、月の特徴を理解する。		観察、実験や科学資料集や文献の図版などを用いて、結果や資料を分析して解釈し、身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、宇宙についての基本的な概念や原理・法則を見だし、見識を広める。
2		16	○太陽系と銀河系 ◆太陽系の広がりを知る。 ◆宇宙の観察されている現象を知る。		
3	地球の明るい未来のために	8	○自然環境と人間のかかわり ◆自然のめぐみと自然災害を学ぶ。 ○くらしを支える科学技術 ◆技術発展と環境への影響を理解する。 ○大切なエネルギー資源 ◆環境保全の重要性を理解する。		身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について理解を深める。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通し、音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。 (2) 演奏方法を創意工夫しながら、演奏や合奏をする力を付ける。 (3) 鑑賞などを通して、音楽文化への理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	早坂 あまね				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	教育出版 「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」 「中学器楽1-3音楽のおくりもの」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5	楽典 歌唱	8	○音符と休符の長さ・拍子 ○「くいしんぼうのラップ」 ◆音符や休符の長さの違いやシンコペーションを理解し、リズムパターンを作ることができる。 ◆様々なリズムで掛け合いをすることができる。 ○歌うための準備 ○「校歌」 ○「エーデルワイス」 ◆身体をリラックスさせ発声することができる。		・長さの違いを分かりやすくするため、手で拍を叩いたり、記号を細かく分解する。 ・カードを使い、視覚的に分かりやすくする。 ・身体を温めるため、ストレッチを行う。 ・正しい発声をするため、姿勢を整える。 ・範唱を聴く。
6 7	歌唱 鑑賞	8	○「夏は来ぬ」 ◆歌詞の意味や示されている情景を想像して歌唱表現することができる。 ○「雨だれ」 ◆楽曲の雰囲気、表現を感じ取ることができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。		・歌詞の意味を理解するため、ICT機器を使用し、調べ学習を行う。 ・ショパンの有名な楽曲を鑑賞し、作曲家理解を深める。
9 10 11 12	歌唱 鑑賞 合唱	10	○「ソーラン節」 ◆囃しことばや伴奏に合わせて表現を工夫することができる。 ◆民謡の特徴を理解することができる。 ○「アイダ(凱旋の行進曲)」 ◆物語の内容を理解し、舞台での表現を感じ取り鑑賞することができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。 ◆バレエとオペラの中のバレエの表現を比べることができる。 ○「夢の世界を」 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。 ◆音色やハーモニーを捉えながら合唱表現をすることができる。		・実際の映像を鑑賞する。 ・衣装や、装飾、表情が分かりやすい映像を用いる。 ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印を付け、分かりやすくする。
1 2	合奏 歌唱	7	○ハンドベル「歓喜の歌」 ◆曲全体の流れを意識し、タイミングよく演奏することができる。 ○「君が代」 ◆プレスや強弱、フレーズングを意識して歌唱することができる。		・音符の音の違いを色で表す。
3	1年間のまとめ	2			・見通しがもてるよう授業全体の流れを呈示する。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	美術		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 様々な素材や道具を使い、安全に気を付けて創作する。 (2) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (3) 綺麗なもの、美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。				
担当教職員 *学校介護職員	佐藤 やよい、梅原 諒				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	日本文教出版「美術2・3上 学びの実感と広まり」 日本文教出版「美術2・3下 学びの探究と未来」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	立体作品制作	15	○世界の美術作品を鑑賞し、美術の歴史や文化について学ぶ。 ○美術動画や写真を鑑賞し、話し合ったりしながら理解を深める。 ◆伝える、使うなどの目的や機能を考えて制作する。 ◆様々な素材に触れ、作品の構想を計画的に練ることができる。 ◆自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさを感じて制作することができる。		・身近にある作品を紹介し、美術に親しみをもてるようにする。 ・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。
5					
6					
7					
9	平面作品制作 (砂絵)	15	○素材やしようする道具について学習する。 ◆素材の感触を確かめ、形や色の組み合わせとそこから生まれるパランスや色の鮮やかさを理解できるようにする。 ○ラフスケッチを行う。 ◆砂の量や作品の大きさを選択し、期間内に完成できる作品を計画できるようにする。 ○粘着素材に色砂をのせながら、描いていく。 ◆丁寧に画面へ色砂をのせられるようにする。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。 ・グラデーションの表現など、色砂特有の表現方法を一緒に確認できる時間を設ける。
10					
11					
12					
1	平面作品制作	4	○表現したい模様を予測しながら液を垂らす。 ○マーブリング液を専用液に垂らし、紙を浸し、模様を定着させる。 ◆色の交わりについて予測できるよう、計画的に行えるようにする。		・グループで協力して取り組むことができるように、役割分担を決める時間を設ける。 ・道具の場所や素材の準備まで生徒自身で行えるように手順書を用意しておく。
2					
3					
通年	作品鑑賞	1	友達や自分の完成した作品を鑑賞し、良い点について発表する。		様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第123学年	教育課程名	保健体育	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	保健体育			学習グループ名			
目標・ねらい	(1) 運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見つけ、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	内田麻衣 木村一樹 早坂あまね 梅原諒						
年間授業時数	35 単位時間						
使用教科書	学研 中学保健体育						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	体育祭に向けて 陸上競技・球技	9	○集合、整列、集団行動 ◆体を動かす楽しさに触れ、友達と関わったり、動きを持続する能力を高める。 ○課題走球技など ◆健康の保持増進や体力の向上を図る。 ◆運動に積極的に取り組み、決まりを守り、友達と助け合い、安全に留意する。			・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。	
5							
6	水泳 保健「運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全」	6	○水慣れ、浮き身、泳法指導 ◆水に慣れ、自己の能力に適した課題をもって、技能を高める。 ◆個別の課題に取り組み、歩行など水中でしかできない動きを経験する。 ○スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ◆健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを知る。 ○健康な生活と病気の予防 ◆感染症はどのように起こり、どうすれば予防できるのか理解する。			・室温、水温、WGTPを管理し、安全に入水できるようにする。 ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化させるようにする。 ・個に応じた課題を設定する。 ・ICT機器を使用する。 ・実態や課題に合わせてグルーピングをする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。	
7							
9							
10	集団行動・マスゲーム ダンス 保健「傷害の防止」	11	○集団行動・ダンス ◆カウントをとりながら身体を動かす。ペアになった友達とカウントを合わせる。 ◆ルールを理解し、集団で協力する力を養う。 ◆身体のいろいろな使い方を学び、楽しみながらボディイメージを高める。 ○交通事故の危険予測と回避、自然災害による危険 ◆事故や災害の状況について考える。			・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。・各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 ・動画等で手本を見たり、ICT機器を使用したりする。	
11							
12							
1	生涯スポーツ・武道 保健「心身の機能の発達と心の健康」	9	○生涯スポーツ ◆仲間と連携し、ゲーム展開できるようにする。相互に影響を与え、関わっていることを理解する。 ◆自己の能力に適した課題をもって、個人やグループで協力しながら自己記録の向上や喜び、競争の楽しさが味わうことができるようになる。 ○剣道：基本動作・面・小手 ◆伝統的な行動の仕方を理解し、相手を尊重して積極的に取り組む。 ○心身の発達と心の健康 ◆体の各器官はどのように発達するのか理解する。			・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化させるようにする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。	
2							
3							

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	技術・家庭	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	技術・家庭			学習グループ名			
目標・ねらい	(1) 生活や自立に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 家庭生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、自分の考えを表現するなど、課題を解決する能力を養う。 (3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	牧 理 並木美由紀						
年間授業時数	35 単位時間						
使用教科書	技術 開隆堂「技術・家庭 技術分野」 家庭 教育図書「New技術・家庭 家庭分野」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	○材料と加工の技術 ・生活や社会と材料と加工の技術 ・材料を利用するための技術	7	○身の回りの製品の観察 ○材料の性質の実験 ○材料を作る技術と材料を材料を加工する技術 ◆材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。			・身の回りの製品を取り上げることで材料と加工の技術について興味・関心をもたせる。 ・加工方法については予想できない可能性もあるため、選択肢を用意する。	
5							
6	○材料と加工の技術 ・問題解決の手順 ・製作のための技能	7	○基本的な構想における問題解決の工夫 ○部品加工の手順と工具(けがき、切断、穴あけ、塗装) ◆安全・適切に部品加工ができる。			・身近な製品を例に設計のながれ、問題解決の工夫について考えさせる。 ・工具を扱うので安全に留意させる。	
7							
9	○材料と加工の技術 ・これからの材料と加工の技術	3	○課題の提示 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて材料と加工の技術を工夫しようとしている。			・学習を通して身に付けた見方・考え方をどのようにして社会における問題解決につなげていくか考えさせる。	
10	○衣生活と自立 ・製作の基礎技能	6	○手縫いの基礎(玉結び、玉止め、ボタン付け) ◆製作に必要な基礎的な技能を知り、身に付ける。			・見本や資料を提示し、視覚的に分かりやすくし、見通しがもてるようにする。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策を一緒に考えながら製作を進められるようにする。	
11							
12	○食生活を豊かにするために ・1日分の献立作成 ・食品の選択	3	○献立作成の基礎(主食、主菜、副菜のバランス) ○生鮮食品や加工食品の種類、特徴 ◆健康な食生活を送るために必要な知識を身に付ける。			・絵カードやパワーポイントなどで視覚的に分かりやすくする。 ・自分の生活と結び付けて考えられるようにする。	
1	○食生活を豊かにするために ・日常食の調理	9	○調理の基礎技術(計量器具の使い方、調理道具の使い方) ○日常食の調理(洗う、切る、調理、片付け) ◆日常食の調理に必要な知識と技能を身に付ける。			・安全と衛生に気を付けて実習を行う。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策を一緒に考えながら製作を進められるようにする。	
2							
3							

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる課程
教科等名	外国語		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1)コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 (2)Listening、Speaking、Reading、Writingの技能の習得や向上を図る。 (3)外国語やALTとの学習を通じて、外国の言語や文化に対する理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	中村 美和				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	東京書籍「NEW HORIZON 3」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	Unit0 Three Interesting Facts about Languages	16	○受け身(復習) ◆これまでに学んだことを使って、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝えることができる。		身近な事柄から能動態と受動態を比較できる 例文を提示し、受け身の形を実感できるようにする。
5	Unit 1 Sports for Everyone	16	○現在完了形(経験用法、平叙文)、SVOC(C=形容詞) ◆これまでの経験について伝えることができる。人の気持ちの変化について伝えたりすることができる。		自分自身の経験を用いて、現在形、過去形と現在完了形を比較し、用法を理解できるようにする。
6 7	Let's Talk 1 はじめての出会い	3	○Welcome to ... We've been looking forward to ... ◆初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。 ◆宿題などの状況について概要を捉えたり、即興で伝え合ったりすることができる。ある場所に住んでいる期間などについて相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。		ALTとの授業後に、再度、復習することで知識の定着を図る。どんな言葉伝えたいか、それをどんな英語で表現できるか考えるようにする。
	Unit 2 Haiku in English	16	○現在完了形(完了用法)、現在完了形(継続用法) ◆宿題などの状況について概要を捉えたり、即興で伝え合ったりすることができる。ある場所に住んでいる期間などについて相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。		現在形、過去形と現在完了形を比較し、用法を理解できるようにする。日本の文化と海外の文化の違いを知り興味を喚起する。
9 10	Unit3 Animals on the Red List	16	○It is ... (for+ (人など) +to, want+ (人など) +to, ◆構文を用いて自分の考えを話したり書いたりすることができる。だれかにしてほしいことを伝えることができる。		グループワークなどを用いて、It is ...の構文で自分の主張、使役+原形不定詞で聞き手に具体的な物事を伝えられるようにする。
	Let's Talk 2 町中での手助け	3	○Can I help you?, Shall I ...?, Would you like me to ...? ◆相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。		ALTとの授業後に、再度、復習することで知識の定着を図る。ペアで対話練習などを行い、実際の場面に即した状況を作る。
11	Unit4 Be Prepared and Work Together	16	○現在分詞、過去分詞 ◆人物についてどんな様子なのかを具体的に説明することができる。		商品添付されたmade in ~の文字など、実際に分詞が使用されている場面を提示することで理解を深めるようにする。
12	Unit5 A Legacy for Peace	16	○関係代名詞who, that, which ◆どのようにしたらよいかを説明するために、使い方ややり方について、伝えることができる。		友人の特徴を表現する文を書くなど、自分が実際に体感できる練習を用いて理解を深める。ガンディーの功績から平和や人権の大切さに気付くようにする。
1 2	Let's Talk 3 食品の選択	3	○I see your point, but ... ◆相手の意見を受けて自分の主張を述べることができる。		ディベートの形式を取り、主体的に、事実や自分の考えを整理して、自分の考えを伝えたり、相手の意見を受けて主張を述べ合う。
	Unit6 Beyond Borders	16	○仮定法 ◆現実とは異なる願いごとや架空の話について、考えや気持ちを整理して伝えることができる。		自分の願望を英語で表現することや生徒の楽しめる題材を用いた英文を書くことにより、仮定法に対する理解を深める。
3	1年間のまとめ	9	○1年間の学習事項の復習 ◆単語、文法のおさらいをし、定着を図る。		生徒がつまづき易い文法事項を中心に、生徒の要望を聞きながら、復習を進めて行くようにする。
通年	英語でのやり取りを中心とした学習(ALT)	10	○教科書Let's talk ◆コミュニケーションを取ろうとする態度を育成し、技能の向上を図る。		できるだけ日本語を使わないようにする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1～3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	道徳		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 集団や社会でのルールやマナーなどについての理解を深める。 (2) 自分や他の人に対する理解を深め、考えや意見を自ら表現する。 (3) 自然や崇高なものに興味をもち、理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	早坂 あまね 梅原 諒 木村一樹				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	「きみがいちばんひかるとき」 中学道徳1, 2, 3 光村図書				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	A [向上心、個性の伸長]	3	○自己紹介、他己紹介 ◆自分の興味や関心について考える。		・「自分」を見つめることができるよう、誰にでも共通の紹介項目を設定する。
5	B [相互理解・寛容]	7	○グループエクササイズ、コミュニケーションゲーム ◆お互いを認め合う心を育てる。		・ゲームの勝ち負けにこだわらず、互いを認め合うような言葉掛けをするよう、授業の最初に確認する。
6					
7	A [真理の探究、創造]	2	○課題や問題点に対して自分なりの意見を持ち、伝える。 ◆答えがひとつではない問題について考え、自分の意見をもつ。		・自分の意見をまとめられるよう、ワークシートやタブレット端末を活用する。
9	C [遵法精神、公德心] あすを生きる1 「使っても大丈夫？」	3	○インターネット使用時のルールや著作権について知る。 ◆法や決まりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。		・具体的にイメージできるよう、生徒たちに身近な題材を扱う。
10	B [礼儀の心] あすを生きる1 「『愛情貯金』をはじめませんか」	4	○礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆挨拶の意義を理解し、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。		・ロールプレイをして場面ごとの言葉遣いを考えやすくする。
11	D [生命の尊さ] きみがいちばんひかるとき1 「捨てられた悲しみ」	4	○命の尊さについて自分の意見を発表し、友達と話し合う。 ◆生命のかけがえのなさを理解し、生命を大切にしようとする態度を育てる。		・栽培などを通して普段から生命の尊さについて考える活動を行う。
12	A [希望と勇気、克己と強い意志]	2	○グループ学習発表練習 ◆困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる気持ちを育てる。		・それぞれが自信をもってやり遂げることができるよう、得意な分野での発表を行う。
1	C [国際理解、国際貢献]	3	○SDGsについて学び、考える。 ◆国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。		・実際に考えることができるよう、時事問題などを題材として取り入れる。
2	C [勤労]	4	○疑似仕事体験 ◆働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を育てる。		・職業体験とリンクさせて自分の将来を考える材料とする。
3	B [思いやり、感謝]	3	○1年間の自分を振り返る ◆多くの人によって支えられ、守られていることに気付き、感謝する態度を育てる。		・1年間の生活の中で人に支えられてきた部分をピックアップし、気付きやすくする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2、3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	総合的な学習の時間		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。				
担当教職員 *学校介護職員	木村 一樹 梅原 諒 早坂 あまね				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	自己紹介	2	○自己紹介 ◆自分のことを自分の言葉で紹介できる。		・迷わず紹介できるよう、全員共通の紹介項目を設定する。
	今年度の目標	2	○目標設定 ◆グループ目標を決めるために話し合い活動ができる。		・円滑に話し合い活動が行われるよう、適宜、言葉掛けをする。
5 6	校外学習(事前学習)	6	○警視庁についての調べ学習・発表 しおり作成 ◆校外学習についての見通しをもつ		・校外学習に見通しをもてるよう、スライド等を利用して大まかな流れを説明した後、調べ学習を行う。
7 9	校外学習(事後学習)	6	○パワーポイント資料作成、発表 ◆校外学習で学んだことをまとめる。		・自信をもってまとめられるよう、手本を例示する。
10	ビジネスマナー	6	○職場体験学習に向け、礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆場に応じた言葉遣いや態度を知り、実践する。		・場面に応じての言葉遣いやマナーをまとめたマニュアルを用意する。
11	情報リテラシー学習	6	○情報リテラシー、SNSの使い方 ◆インターネットの適切な使い方を身に付ける。		・自分もトラブルに巻き込まれるかもしれないと実際に考えられるよう、生徒が普段やっている使用方法を例に考える。
12	NIE朝日新聞出前授業(事前学習)	6	○新聞の読み方、SDGsについて ◆地球の未来を考え、自分たちにできることを考える。		・みんなで一つの記事を学べるよう、デジタル版の新聞をモニターに写すなどして使用する。
1	NIE朝日新聞出前授業(事前学習)	6	○スピーチ ◆学んだことを自分事として捉え、自分の考えを文章でまとめる。		・簡潔にスピーチをできるよう、スピーチの要点をまとめるシートを用意する。
2 3	進路学習	8	○人生予想図作成 適正把握 高校、大学、職業についての調べ学習 ◆高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。		・「13歳のハローワーク」のWebページを使用し、自分の性格や能力がどんな職業にあっているかを調べる。
通年	栽培	22	○作物や植物を栽培する。 ◆栽培を通して生物と環境のつながりを知る。		・1年を通して栽培を行うことで、植物の生育の条件やたくましさを実感できるようにする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	▼ 選択してください
教科等名	特別活動		学習グループ名		
目標・ねらい	(1) 自分の役割を意識し、学習したことを発揮することができる。 (2) 集団の中で相手の気持ちを受け止めたり、自分の気持ちを自分なりの表現で伝えたりすることができる。 (3) 友達と協力し助け合い、人間関係を育み、集団生活の充実を図る。				
担当教職員 *学校介護職員	梅原 諒 中村 美和 小林 真 上原 千穂 赤林 ひろみ				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	新入生歓迎会	3	○活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。 ◆新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。		・出し物等に見通しをもてるよう、どんな活動があるか、例示する。
5	体育祭	6	○体育祭の競技種目を知り、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、仲間と協力して参加する。		・体育祭の種目が分かりやすいよう、昨年度のビデオを見るなどの活動を行う。
6					
7	墨東祭準備①	3	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○小道具や背景などを作成する。 ◆墨東祭の発表内容と、何が必要かを協力して考える。		・一人一人ができること、得意なことをもとに出し物を考えるよう言葉掛けをする。
9	墨東祭準備②	6	○小道具や背景などを作成する。 ○発表の練習をする。 ◆墨東祭に向けて自分の役割を自覚し、練習する。		・それぞれの役割に自信をもって取り組めるよう、練習の時間を多く設定する。
10					
11	修学旅行	4	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○修学旅行に向けて事前準備をする。 ○修学旅行を終えて頑張ったことなどを発表する。 ◆修学旅行について見通しをもつ。		・修学旅行に見通しをもてるよう、昨年度の写真や映像などの資料を用意する。
12	墨東祭	4	○発表の練習をする。 ○墨東祭の振り返りを行う。 ◆墨東祭を振り返り、自身や仲間の頑張ったこと実感する。		・自身の墨東祭の様子を振り返ることができるよう、写真や映像などを使用する。
1	入学相談について	4	○入学相談に向けて流れの確認をする。 ○入学相談での面談の練習を行う。 ◆入学相談の見通しをもつ。		・入学相談や面談の流れなどを確認し、練習することで見通しをもてるようにする。
2	3年生を送る会準備	2	○発表内容を考え、準備する。 ◆在校生に感謝の気持ちを伝えるにはどうしたらいいか話し合う。		・発表内容をイメージできるよう、今までの活動などを振り返る。
	卒業に向けて	3	○卒業生の言葉を考え、練習をする。 ○証書授与の練習をする。 ◆卒業生の言葉、証書授与の練習を通じて、卒業への意識を高めることができる。		
3					・卒業式当日の雰囲気を感じて見通しをもてるよう、本番となるべく同じ体制で体育館練習を行う。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1～3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力を付ける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動をすすんで行う。				
担当教職員 *学校介護職員	梅原 諒 木村 一樹 早坂 あまね				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	身体の取り組み コミュニケーション	70	○ストレッチ ○姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ○姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ○歩行練習 ○手指の操作性を高める取り組み ○視機能を高める取り組み ○コミュニケーションゲーム ◆身体の取り組みや健康に関することなどに取り組み、日常生活に生かす。 ◆正しいコミュニケーションを学び、実践する力を付ける。		・身体の取り組みを行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。